

科目名 (英語表記)	科学技術英語(English in Science and Technology)						ポートフォリオ
学年・学科	1年・物質工学専攻		単位・期間	必修2単位・後期週2時間(授業時間30時間) (自己学習時間60時間)		<学生が記入する上での注意事項>	
担当教員	山下 敏明 岡部 勇二 藤森 崇夫 野口 太郎 平沢 大樹	連絡先	専攻科棟 4階 山下研究室 物質工学棟3階 岡部研究室 物質工学棟3階 藤森研究室 生物工学棟2階 野口研究室 物質工学棟2階 平沢研究室	オフィスアワー	月曜 午後4時20分～	【授業計画の説明】 枠内に○か×かを記入すること。 【理解の度合】(記入例)ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。 【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。(記入例)ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。 【総合達成度】では、【達成目標】どおりに目標を達成することができたかどうか、記入してください。	
【授業目的】	科学, 工学, 環境, 生物等に関する英語に親しみ, 国際社会で活躍できる英語力の養成と専門知識の整理拡充を目的とする。						
【履修上の注意】	1) 下記「授業の内容」に示された各授業項目について予習しておくことが望ましい。 2) 課題レポートは提出期限日までに提出すること。						
【事前に行う準備学習や自己学習】	1) 自己学習内容に関しては, 事前に下記の各授業担当教員に準備学習・自己学習について問い合わせること。 2) 授業中に課題を課すので, その課題について調査し, 期日までにレポート作成を行なうこと。 なお, 課題は, 自己学習の事後学習として評価する。						
【達成目標】	1) 科学技術, 環境化学, 生物工学等における課題を英語で理解できること。 2) 国際社会で活躍できる専門の英語力を身につけること。 3) 物質工学, 生物工学関係の英語論文の読解と簡単なリスニングができること。 4) 英文による表現に慣れ, 語彙力を増強し, 基本文型に沿った英作文ができること。						
学 習 到 達 目 標							
ルーブリック評価	理想的な到達レベルの目安 (A)	標準的な到達レベルの目安 (B)	未到達レベルの目安 (C)		ルーブリック評価とは設定された到達目標の合否および到達レベル(到達度の程度)を示す基準です。		
評価到達目標項目1	科学技術、環境化学、生物工学等における課題を英語で理解でき、プレゼンテーションができる。	科学技術、環境化学、生物工学等における課題を英語で理解できること。	科学技術、環境化学、生物工学等における単語を英語で理解できること。		【自己評価】 A ・ B ・ C		
評価到達目標項目2	国際社会で活躍できる専門の英語力を身に付け、コミュニケーションができる。	国際社会で活躍できる専門の英語力を身に付けること。	専門の英語力を身に付けること。		【自己評価】 A ・ B ・ C		
評価到達目標項目3	物質工学、生物工学関係の英語論文の読解と高度なリスニングができる。	物質工学、生物工学関係の英語論文の読解と簡単なリスニングができること。	物質工学、生物工学関係の英語論文の読解ができること。		【自己評価】 A ・ B ・ C		
評価到達目標項目4	英文による表現に慣れ、語彙力を増強し、論文の作成ができる。	英文による表現に慣れ、語彙力を増強し、基本文型に沿った英作文ができること。	英文による表現に慣れ、基本文型に沿った英作文ができること。		【自己評価】 A ・ B ・ C		
到 達 度 評 価 (%)							
評価方法	定期試験	小テスト	レポート	口頭発表	論文要旨	その他	合計
総合評価割合			90			10	100
知識の基本的な理解			50			10	60
思考・推論・創造への適応力			40				40
汎用的技能							
態度・志向性(人間力)							
総合的な学習経験と創造的思考力							
【教科書】	各教員が資料を配付						
【参考資料】	なし						
【学習・教育目標・サブ目標との対応】(低学年)	【JABEE基準との対応】						
【学習・教育到達目標との対応】(高学年・専攻科)	(c), (d), (f)						
	(B) (D)						

【授業内容】			【授業計画の説明】(実施状況の記入)
授 業 要 目	内 容	時 間	
授業計画の説明	・授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明	0.5	
有機化学に関する科学技術英語 (担当:山下)	・有機化学反応に関する文章の英訳	6	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
物理化学に関する科学技術英語 (担当:岡部)	・熱力学に関する技術英語の読解	6	
生物工学に関する科学技術英語1 (担当:平沢)	・環境工学、環境微生物学および分子生態学に関する技術英語の読解	6	
無機化学に関する科学技術英語 (担当:藤森)	・錯生成、酸-塩基に関する技術英語の読解	6	
生物工学に関する科学技術英語2 (担当:野口)	・蛍光タンパク質の利用と開発に関する英語論文の輪講 ・最近の動向研究	6	
合計時間		30	【総合達成度】 総合評価の点数()
【備考】			【評価の実施状況】(◎教員は総合評価を出した後に記入する。)